

製品名: TRADD ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab19180

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	TRADD
別名	TRADD; Tumor necrosis factor receptor type 1-associated DEATH domain protein; TNFR1-associated DEATH domain protein; TNFRSF1A-associated via death domain
遺伝子 ID	8717.0
SwissProt ID	Q15628
免疫原	抗血清はヒト TRADD 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 251-300

背景

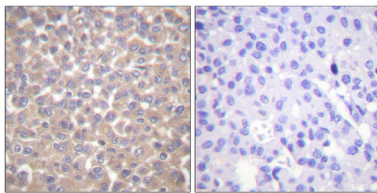
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNFRSF1A/TNFR1 と相互作用し、プログラム細胞死シグナル伝達および NF- κ B 活

活性化を媒介するデスドメイン含有アダプター分子です。このタンパク質はアダプタータンパク質 TRAF2 に結合し、TRAF2 によるアポトーシス阻害タンパク質 (IAP) のリクルートを減少させることで、TRAF2 を介したアポトーシスを抑制します。また、このタンパク質は受容体 TNFRSF6/FAS およびアダプタータンパク質 FADD/MORT1 とも相互作用し、Fas 誘導性細胞死経路に関与しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月], ドメイン: TNFRSF1A/TNFR1 と結合するには、完全な DEATH ドメインが必要です。機能: TNFRSF1A/TNFR1 用アダプター分子で、活性化された TNFRSF1A/TNFR1 の細胞質ドメインと特異的に結合し、FADD との相互作用を媒介します。TRADD の過剰発現は、TNF 誘導性の 2 つの主要な反応、すなわちアポトーシスと NF- κ B の活性化を引き起こす。類似性: 1 つのデスドメインを含む。サブユニット: TNFRSF1A/TNFR1 とのヘテロ二量体。DAB2IP、FADD、HIPK2、KRT14、KRT16、KRT17、KRT18、RIPK1、SQSTM1、TRAF1、TRAF2、TRPC4AP と相互作用する。組織特異性: 検査したすべての組織で検出された。

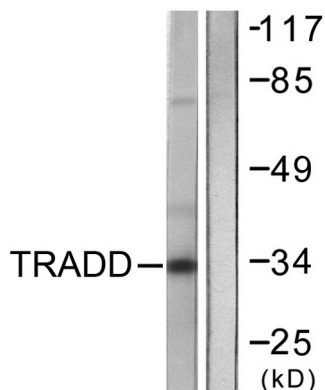
研究分野

アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;RIG-I 様受容体;アディポサイトカイン;

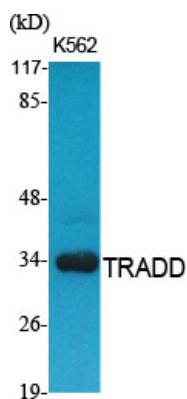
画像データ



TRADD 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TRADD 抗体を用いた COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



TRADD ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



TRADD ポリクローナル抗体を用いた COS7 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。